

# KRP PRESS

2017.01 | Vol.148

特集

①(地独)京都市産業技術研究所100周年 ②KRP地区のそれぞれのワークスタイル

【特集②】

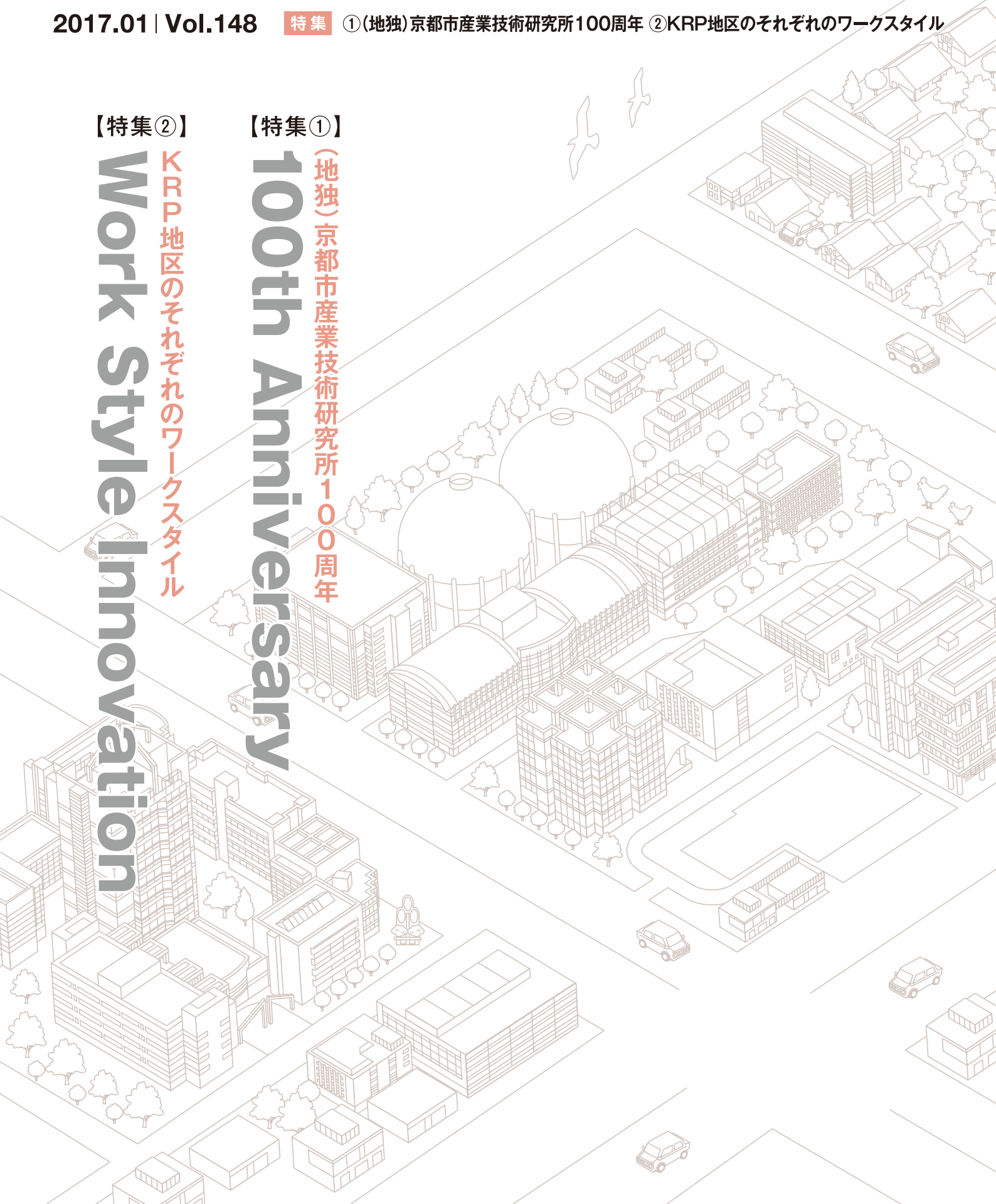
KRP地区のそれぞれのワークスタイル

Work Style Innovation

【特集①】

(地独)京都市産業技術研究所100周年

100th Anniversary



## 京都市産技研・100年の主な歩み

### 染織試験場～繊維技術センターの歩み

- 1916年 ● 西陣織物同業組合から有姿のまま西陣織物染織試験場施設(上京区烏丸通上立売上ル相国寺門前町)の寄付を受け京都市染織試験場として発足
- 1936年 ● 本館竣工(コンクリート造3階)
- 1954年 ● 染織物の巡回指導開始
- 1961年 ● 技術相談室を開設
- 1963年 ● 染織試験場運営協力会設立
- 1964年 ● 中小企業染織技術者研修(本科)開講
- 1966年 ● 中小企業染織技術者研修(専攻科)開講
- 1967年 ● 本友禅(手描)実技講習会開講
- 1968年 ● 西陣織物技術者養成研修会開講
- 1972年 ● 研究棟竣工

### 工業研究所～工業技術センターの歩み

- 1920年 ● 化学工業を振興するための研究機関として京都市工業研究所を設立
- 1923年 ● 新庁舎(東九条山王町)に移転
- 1926年 ● 京都市陶磁器講習所を工業研究所に移管統合し窯業部を設置  
また金属部を設置し金属工芸に関する指導業務を開始
- 1927年 ● 図案係を設置し工芸品の意匠に関する指導業務を開始
- 1955年 ● 工業研究所全体を京都市工芸指導所に移管併合し京都市工芸指導所と改称
- 1966年 ● 工芸指導所を京都市工業試験場に改称し新庁舎(南区西九条南田町)に移転
- 1968年 ● 京都工試協会設立  
(後に京都ものづくり協会と改称)
- 1989年 ● 京都リサーチパークに移転

### 京都市産技研までの歩み

- 2003年 ● 京都市産業技術研究所の設置に伴い染織試験場と工業試験場を同研究所繊維技術センター及び同研究所工業技術センターに改称し組織を統合
- 2010年 ● 現庁舎へ移転し知恵産業融合センターを設置
- 2013年 ● 京都ものづくり協力会設立(染色試験場運営協力会と京都ものづくり協会を統合)
- 2014年 ● 地方独立行政法人へ移行(地方独立行政法人京都市産業技術研究所の設立)

100th anniversary

## 創設100周年記念式典

11月11日、上七軒歌舞練場で創設100周年を祝う記念式典が開かれ、市内外の企業や研究機関の関係者ら300名が出席した。西本理事長の挨拶のあと、OB職員が昭和期の技術センター時代にまつわる思い出や、織物産業の近代化に貢献した実績などについて映像をまじえて語った。招待者からは、中小企業の技術革新を支えてきた業績に対する評価とともに、これからも長期的な視点に立った研究開発や技術支援を期待する声が聞かれた。会場にはレーザープリンターの応用技術で染色された若冲の屏風画や、京焼・清水焼、京漆器の介護食器など多様な開発品が展示された。2月に東京ビッグサイトで開催される「ナノテク2017」にも、これらの開発品が出品される。



これからの京都を遠望するとき、やはり次の時代を担う若手の育成が欠かせません。かつてウィーン大学が若きクリムトに講堂の天井画を描かせたように、若い世代にはそうした発表の場が必要でしょう。短期的な視点ではなく、長い先を見据えて大学や附置研究所とも連携しながら、京都らしさにこだわった産業支援活動で次代を育てていきたい。そのためには産業の量産技術のベースに伝統工芸技術のヒントを取り入れ、伝統工芸の技術に量産技術



(地独)京都市産業技術研究所  
理事長  
西本清一氏

のヒントを活かしていくという京都市産技研100年の知恵を、さらに100年先、200年先まで伝えていくゆるぎない意志が大切であると思います。

京都市産技研は、公的な産業支援機関として京都の中小企業の技術支援を、試験分析や技術相談、設備機器の利用提供などを通じて行い、同時に伝統産業技術の後継者や中小企業技術者の育成を図ってきました。世界トップシェアを誇る電子部品メーカーの技術開発に、伝統工芸に裏打ちされた京都市産技研の技術アドバースが役立った事例が象徴するように、支援活動を通して京都産業界の発展に寄与してき

若手を育て次代へつなぐ  
長期にわたる視点を大切に  
100年という歳月は12000年余の京都の歴史の1割にも満たないものですが、1000年企業が多く存在する京都の地域性を考えると、そこには大きな意義と責任があると考えます。



京都市産技研の歩みを表現しています。

京都産業の活性化をめざして京都の優れたものづくり文化を継承し、中小企業の下支えと成長支援を使命としてきた地方独立行政法人京都市産業技術研究所(以下、京都市産技研)が、2016年10月で創設100周年を迎えた。大きな節目に際して、これまでの京都産業界における意義や業績、今後の思いなどについて西本理事長にお話を伺った。

また、最近では独自の開発技術も多く、次世代スマートフォンの高精細化に貢献できる金属膜加工技術や、友禅染をベースにした小ロット生産が可能な環境調和型電子塗染技術など、汎用が期待される技術を生みだしています。100周年の記念モニュメントとして協働制作した径1.2mの時計の文字盤には京友禅、西陣織、清水焼、伏見の清酒など京都ものづくり協会の12の伝統技術を配し、光で時を刻む仕掛けを搭載しました。伝統と先進とを両輪とした京都市産技研の歩みを表現しています。

(地独)京都市産業技術研究所100周年  
次なる200年、300年に向けて  
京都産業の叡智をつないでいきたい

コツコツ、100年。  
since 1916  
京都市産技研創設100周年





# Work Style Innovation

長時間労働の見直しやグローバル化、育児・介護との両立など

日本のワークスタイルに変革への動きが見られます。

一人ひとりがしあわせな働き手であるためのキーワード「多様性」。

企業の規模や使命、経営者の信条や哲学に応じて進められる

KRP地区のさまざまなワークスタイルをご紹介します。



企業向けITインフラ事業の会社として創業20周年を迎え、とりわけここ数年は今後の事業発展のためにも、個々の社員のスキルアップを推進していく必要性を感じるようになりまし。またスキルアップも、会社が押しつける内容では限界があります。「社員自身が自主的に取り組むことを応援する」という主旨のもと、各自が自主的に専門的な知識や情報を獲得し、それが個々のスキルアップにつながり、新たなサービスの事業化につながられたらとの想いから、就業時間内月最大20時間の副業OKのスキルアップ支援制度「会社公認 働かない制度」を開始しました。対象は入社半年以上の正社員、通常業務に支障のないことが絶対条件です。

大企業にはない機動力を発揮して「まずはやってみる」というスタンスで始めました。申請書類も内容を明記する程度のシンプルなものにして社員の活用を促しています。目下約10人が申請して制度を活用、就業時間中に社内のデスクで堂々と資格取得のための勉強をしたり、副業のアクセサリ製作に集中したりしています。当社が運営しているブログにアップすることで、社員

CASE 01

（株）フューチャースピリッツ 代表取締役 谷孝大氏  
**事業開発や文化形成につながる  
 個々のスキルアップを応援**

の顔が外部にも伝わりやすくなつた他、社員同士でも、それまで知らなかった他の社員の新たな一面を発見し、互いの生き方や趣味を認め合う当社の社風形成にも役立っているのではないかと思います。

社員が50人を超えたため意識疎通を円滑にするために「コミュニケーション」を重要視しています。部活動やランチ会などを通じて社員が交流できる機会を設け、私個人としても社員と直接対話する機会を意図的につくって、社内の風通しを良くするよう努めています。その効果もあってか、最近では「社長の顔が見えるようになった」「話しやすくなった」との声が聞かれるようになりました。20周年を契機に会社としても次のステージを見据え、社風を含めて当社の文化をつくることにも取り組んでいこうと思っています。



1 設立20周年を機に、  
 新たなワークスタイルを創造中

会社設立20周年を迎え、社員が50人以上となったことから意思疎通の円滑化を重視し、「コミュニケーション」をテーマに新たな仕組みづくりに取り組んでいる。社員がスムーズに交流し互いを知るための仕組みづくりを会社が積極的に後押し。また記念プロジェクトを展開するなかで業務責任をできるだけ社員へ移行するなど、各自の「働く意識」の変革も促している。20周年の記念式典では社員が一丸となってイベントを自主的に盛り上げ、20年の感謝と共に、未来に向かっていいスタートとなった。



2 スキルアップと副業を支援する  
 新制度「会社公認 働かない制度」

入社半年以上の正社員を対象に、月間最大20時間のフリー使用を制度認定。就業中に副業や資格取得の勉強などが可能となった。現在約10人が申請し、ICチップのアクセサリ製作やLINEスタンプの開発などに活用中。各自の専門領域を深め交流エリアを広げて、新たな事業創出につなげることが狙い。同時に互いの価値観や嗜好を知り、認め合う社風形成を目指す。



3 ランチ会や社員旅行のプランも  
 社員自ら企画・運営

通常業務で社長とかかわりが少ない社員が、社長ランチ会を主催。互いにナマの声や素顔を知る貴重な機会として、月1回のペースで谷孝社長との昼食とフリートークを楽しんでいる。全員参加による社員旅行では、社員の自主企画に基づいてチームビルディングやワークショップを行い、交流の少ない社員同士が直接対話し意見交換。各自がコアバリューの意味を考えるきっかけとなった。また社内ではマラソンやダンスなどのクラブ活動も盛んで、社員同士がコミュニケーションするよい機会となっている。



多様な働き方で共生社会を

昨年「一億総活躍社会」を実現するための「三ッポン一億総活躍プラン」が閣議決定されました。十人十色の人生を、それぞれの価値観に基づいて送り、誰もが活躍できる社会を実現するための最大のチャレンジが、「働き方の改革」。多様な働き方が可能となるように、社会の発想や制度を大きく転換することが必要との趣旨が記されています。

「京都ウィメンズベース」では、「女性が活躍できる社会は誰もが活躍できる」をモットーに、行政、経済団体、労働団体、女性団体、大学、金融機関など多様な21団体が強みをいかし、企業認証や表彰、補助金交付などを実施。京都府内の中小企業における女性の活躍を加速化しよう支援を行っています。職種や勤務時間・形態・就業年数などを、自らのライフスタイルに応じて選択することができれば、活躍できる人材も増えていきます。

京都の企業は伝統産業とその技術の礎に発展を遂げた、世界市場でグローバルに展開する企業が多くあり、大学も多数存在しています。老舗とベンチャー企業が共創し発展することで、京都で働く魅力が益々増えるよう願っています。



京都府男女共同参画課  
 (京都ウィメンズベース)  
 女性活躍推進担当課長  
 木村 真子 氏

CASE 02

最大パフォーマンスを  
「いい仕事環境」で

(株)シーズ 代表取締役 西垣 孝浩氏



Webシステム開発をサーバーの構築、デザイン、運用までトータルに提供し、IT企画サービスとして大容量転送サービス「デカメール」などを運営しています。社員の大半はIT技術者でインドアのデスクワークが中心。それぞれ仕事のやりやすいスタイルが違うので、できるだけ個を尊重し、最大限のパフォーマンスを発揮できるストレスフリーな環境を整えることが重要と考えられています。フレックスタイムの導入や、高機能のワークチェアの標準装備、リラクスルームの自由活用なども、そうしたい根拠にあります。

独身だったり家庭をもっていたり、生活スタイルもさまざまです。仕事のペース配分やオンとオフの切り替え方も技術者によって異なります。技術者のメンタリティが仕事の成果に影響しやすい業種でもあるので、社員それぞれのワークスタイルに対応できるように仕事環境を改善しながら、業界のどこよりも上質のパフォーマンスを提供していきたいと思っています。



**1 勤務はフレックスタイム、休憩は個々のサイクルで**

午前11時から午後4時までをコアタイムとするフレックスタイム制。合計で8時間に達するように、各自のワークスタイルに応じて時間配分は自由に設定する。就業時間中の休憩は随時とることができる。ソファやテレビ、ゴルフのパターマットなどを備えたリラクスルームがオフィスゾーンに隣接。各自が自分のサイクルでオフタイムの息抜きや気分転換に利用できるほか、マッサージチェアも随時利用できる。



**2 高級チェアでデスクワークを快適に**

米国の家具メーカー、ハーマンミラーのアーロンチェアをはじめ高級ワークチェアを全員に支給。人間工学に基づいて体重分散が計算された快適な使用感に、各社員は社長の期待感と信頼を感じるという。



**3 資格取得を積極サポート**

ビジネスの基礎知識やスキルアップのためのセミナー参加をはじめ、AWS (Amazon Web Service) 認定など業務に関連する資格の取得を全員に奨励。資格取得のための勉強会の開催や費用補助などで後押ししている。



**4 多彩な社内イベントで活発に交流**

年頭恒例の電電宮(嵐山法輪寺)への初詣や、有志によるキャンプやスノーボード合宿、全員による新年会、忘年会のほか自主的なグルメ会など種々のイベントを開催。同社OBの参加もあり交流の輪を広げている。

CASE 03

女性だからこそ?  
適材適所でベストワークを実践

(株)メイベル 代表取締役 高木 由美氏



「抗体」というタンパク質を活用する研究開発ベンチャーを設立して8年。起業する女性は少ないかもしれませんが、バイオ業界には女性が多く活躍しています。

主な事業は、医薬バイオ系の研究者や企業が必要とする、抗体試薬やアプリケーション開発、コンサルティングなど。開発の業務は主に実験ですが、データ解析、製品化デザイン、文献調査など、当社では一人が何役もこなさなくてはなりません。個々の経験とスキルにあつた役割分担は、まさに適材適所。少人数でもカバーしあえる態勢になっています。

それぞれの家族構成や立場は違っても、女性だからこそ!?

共感できることが多くあります。お互いのライフスタイルを尊重する姿勢は、仕事の効率アップにも繋がっています。

気分転換は社内で将棋対戦。楽しみながら先読み力を鍛えています。



女性3人、理解しあえるいい関係です。



実験は料理と同じ、手際の良さが光ります。

CASE 04

新ビジネスに次々とチャレンジ

(株)京都マイクロシステムズ 代表取締役 加藤 好志氏



京都大学理学部を卒業後、電子部品メーカーに就職、圧電デバイスの開発および事業運営に長年携わって定年退職。東京の電気通信大学発ベンチャーを起業し超小型ロボットとニードル式ディスプレイを事業化し成果をあげました。

一昨年に、そのベンチャーをM&Aイクジットしました。

第2の起業の(株)京都マイクロシステムズでは緑内障治療のための、前を向いて点眼ができる定量投与が可能なインクジェット方式による点眼デバイスを開発し、製品化を目指して特許出願済みです。

シニアベンチャーの秘訣はあきらめないこと。製品の良さを信じて



6時起床、早朝散歩が日課。「悠々自適は退屈」という73歳



優秀起業家賞や審査員特別賞など、ビジネスコンテストでの受賞も数々

情熱を傾けていれば必ず道が開けてきます。それと多くの人と交流して刺激を得ることも大切。KRP地区では違った世代や業種の人と出会って有難いです。

KRPスタッフ イベントレポート

# KRP STAFF EVENT REPORTS



## ワンコインmixer Session 2

インドネシア料理でバリの棚田に思いを馳せる

開催日: 10月28日(金)  
担当部署: 産学公連携部

京都大学デザインスクールとKRP入居企業との交流企画。ワークショップ形式セミナーにリニューアルした第2回目は、京都大学デザイン学ユニットの村上陽平特定准教授が担当。インドネシア料理を食べながら、バリの棚田の景観を守るためのアイデアをグループごとに自由な発想でディスカッションした。



## 再生医療の全体像を見わたせる 分かりやすい解説講座

— モノづくり企業のための生物学の基礎から応用まで —

開催日: 11月14日(月)・15日(火) 担当部署: 産学公連携部

再生医療の最前線を担う講師陣が、基礎知識や研究開発動向、法規制を「モノづくり企業向け」に分かりやすく解説する講座。今年度から「技術経営・戦略」の講座を新たに設け、よりビジネスに直結する情報を提供。新規参入検討や事業戦略立案など、課題解決のきっかけやヒントを掴むための場を提供していく。



## 第2回京都スタートアップカンファレンス

先輩起業家から関西で成功するベンチャーになる秘訣を学ぶ

開催日: 12月7日(水)  
担当部署: 成長企業支援部

大阪を拠点に活動し、マザーズ上場を果たしたロックオン(株)の岩田社長に先輩起業家として講演を頂いた。ロックオンを設立するまでの学生時代の失敗談や上場を目指した経緯など起業家に役に立つお話を頂いた。講演後には、5つのチームがピッチを行なった。約50名が参加し大いに盛り上がった。



## 第2回機電一体デバイス・応用研究会

ものづくりの観点から産業用ロボットを  
検討する研究会を開催

開催日: 11月8日(火) 担当部署: 産学公連携部

大阪大学 舟木剛教授はパワーエレクトロニクスの観点から、機電一体デバイスの現状と課題について、パナソニック(株)AVCネットワーク社は、社内の保有技術を統合して開発したダム維持管理ロボットシステムについて紹介された。実際の事例をもとにした講演はものづくり企業の参加者に好評を得た。



## 第1回 kizki Salon

「ドローン・オートフライト・デベロップメントの今」

ドローン利用の技術情報を共有するサロンをKRP BIZ NEXTで開催

開催日: 11月24日(木) 担当部署: 成長企業支援部

ドローンを制御する上で必要となる「位置情報の活用」と「機体制御」についてのテクノロジーをソフト観点から共有する本セミナー。AUTODESKによるCGxドローンの自動航行デモや、自治医科大学の監原先生より僻地での薬配達プロジェクトなどが紹介された。また、イベントの企画者のカエルグラスより、開発者向けの情報提供もされた。



## KRP Xmas 2016

ご入居者さまら約300名が集い和やかに開催

開催日: 12月14日(水)  
担当部署: 営業開発部

KRP(株)が1年の感謝の気持ちをお伝えする交流会「KRP Xmas 2016」。熱気溢れる会場では、ご入居者さまら約300名が集い、弦楽四重奏に、お料理に、歓談に、思い思いにお楽しみいただいた。



「2017年は両国の外交樹立60周年であり、CELジャパンが

「2017年は両国の外交樹立60周年であり、CELジャパンが

企業で、伸びしろもある」とCELを紹介した。「スロンチャー」とアイルランド風乾杯のあとは、スクリーンに映し出されるアイルランドの美しい風景をバックに和やかな歓談のひとときへ。CELジャパンは京都で初めてのアイルランド企業であることからアイルランドと日本、アイルランドと京都の新しい関係の始まりを示唆するものとなった。

サーティフィケーション・ヨーロッパ・ジャパン(株)が  
日本拠点をKRP6号館に開設  
パブリックオープン記念パーティーを開催



### KRP6号館 サーティフィケーション・ヨーロッパ・ジャパン株式会社

ISO認証機関として1999年に設立。ISO 9001(品質)、14001(環境)、27001(情報セキュリティ)、18001(労働安全衛生)などの認証を行う。本部はアイルランド(ダブリン)にあり、イタリア・トルコ・イギリス・日本に拠点を置き、20か国以上でサービスを提供。京都では初のアイルランド企業。今後KRP地区を拠点にISOの説明・活用などを通して、企業管理体制強化のサポートを推進する。

[URL] <http://www.certificationeurope.co.jp> [お問合せ] TEL:075-323-6200

### message from MANAGER

ISOの説明・活用を通して、  
企業管理体制の強化を  
サポートしてまいります。

ISO認証機関として20か国以上でサービスを提供する弊社が、日本での拠点として京都を選んだことには、

必然的な理由があります。品質、環境、情報セキュリティ、労働安全衛生などの国際標準を、日本は率先して取り入れてきました。世界的に見てもそのマネジメントはトップクラス。そして京都は、そんな日本の文化、日本の心の中心地。京都初のアイルランド企業として外国企業誘致連絡会(京都府・京都市・京都商工

会議所・JETRO・KRP・けいはんな)のサポートを受けており、アイルランド政府商務庁のサポートも受けております。KRPを拠点に皆様へISO認証審査及びINAB認定の認証を提供させていただいております。ISO新規取得または認証取得後、お困りごと等ございましたらお気軽にお問い合わせください。



サーティフィケーション・ヨーロッパ・ジャパン(株)  
日本総括マネージャー  
木下 淳氏

詳しい内容はWEBでチェック! ▶▶



・KRP News & Events <http://www.krp.co.jp/newsevents/>  
・町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>  
・産学公連携部 <http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>

# Newcomers



KRPエリアに入居された  
新しい企業様のご紹介です。

KRP 6号館

## サーティフィケーション・ヨーロッパ・ジャパン株式会社

弊社はISO認証機関です。ISO9001(品質)、14001(環境)、27001(情報セキュリティ)、18001(労働安全衛生)などの審査・認証を行っています。  
本部はアイルランド(ダブリン)にあり、イタリア・トルコ・イギリス・日本に拠点を置き、20か国以上でサービスを提供しております。京都では初のアイルランド企業となります。KRPを拠点に皆様へのISOの説明・活用などを通して、企業管理体制の強化をサポートしてまいりますと存じます。審査費用等、お気軽にお問い合わせください。

CEO Michael Brophy  
TEL: 075-323-6200  
FAX: 075-323-6222  
URL: <http://www.certificationeurope.co.jp/>  
MAIL: [info@certificationeurope.co.jp](mailto:info@certificationeurope.co.jp)  
業種: 第三者認証機関(ISO認証機関)



KRP 6号館

## 株式会社ジャストイット

自社メディアを通じてクライアントのお客様を集客する「成果報酬型」のWEB代行事業を行っております。  
・インターネットメディア事業  
・WEB集客代行事業  
・SEOコンサルティング

代表取締役 田村 正伸  
URL: <https://justit.co.jp>  
MAIL: [info@justit.jp](mailto:info@justit.jp)  
業種: ICT(コンテンツ制作)



## KRP1号館ロビーに京都職人工房展示コーナー「おきに京都」開設 京都から「新たな定番」を 商品やオリジナルの記念品等の常設展示開始



若手の職人が集い、新商品開発に取り組む「京都職人工房@KRP」。そのメンバーによる工芸品やオーダーで製作した記念品を展示する「おきに京都」がKRP1号館ロビーに設置された。「おきに京都」の名称には、京都で日々腕を磨く職人の技と感性によるひとしなが、それを手にする方の「お気に入り」となるようにという思いが込められている。  
京都から「新たな定番」となる伝統工芸・ギフト品を提案するため、北区区制60周年式典で採用された記念品をはじめ様々な工芸品が展示されている。

●●● 京都職人工房担当者より  
早速KRP地区内ご入居企業さまから、海外工場開所記念品のご相談をお受けしました。社名やロゴ入りの記念品や贈答品もご相談承りますので、ぜひご連絡ください。

問合せ KRP(株)産学公連携部 白水・山崎  
TEL: 075-315-8491 E-MAIL: [dsn-info@krp.co.jp](mailto:dsn-info@krp.co.jp)  
URL: <http://www.krp.co.jp/sangaku/kobo/>  
Facebook: <https://www.facebook.com/krp.shokunin>

京都職人工房  
— KYOTO CRAFTSMEN STUDIO —



Profile  
水尾 学氏  
滋賀県高島市出身。京都の企業で電子機器のハードウェア開発に従事。2016年9月、(株)パーシテック設立。IoT技術を活かした農業関連ビジネス、農業IoTにいかせるハードウェアの開発・展開、果樹の販売など、これまでにないスタイルのビジネスを目指す。  
NPO法人FPGAコンソーシアム副理事長  
(株)パーシテックはエプソン販売のMOVERIO Proパートナーに認定されている。



(上)スマートヘッドセット エプソン MOVERIO Pro BT-2000を装着すれば、農園と自宅など離れたところで画像や音声を相互確認できる。(下)実家の柿は大きさと糖度の高さが自慢。会社員時代、取引先に配ったところ、とても評判がよかったそう。

IoT技術を生かして省力化や単価アップ、後継者育成などを旨とする新しいスタイルの農業。そのためのパッケージビジネスの提案が、(株)パーシテックの中心事業です。具体的には、ウェアラブルグラスを使った栽培技術の

遠隔指導、各種農業用センサーを駆使した環境管理、ドローンによる環境観測という、3本柱による次世代農業の提案です。農家の視点で、農業プロのための独自ソフトウェア開発も行っています。また、果樹栽培における、名匠の技術や経験をデータ化し見える化し、若手技術者育成につながる「名匠ネットワーク320」

プロジェクトの展開も始まっています。  
農業と最新テクノロジー  
両方を分かっていることが強み  
実家は柿農家です。父は名人級で滋賀県の果樹部門最高賞を受賞しました。TVニュースや新聞にも取り上げられ、柿好きが集まる農家として知られており、全国に多くの



KRPエリアを拠点に活躍する  
すべての人、その意外な素顔に迫ります。

# KRP People

株式会社パーシテック  
代表取締役 水尾 学氏

顧客を抱えています。おもに父が一人で栽培しており、私は会社勤めの傍ら、繁忙期になると手伝っていました。しかし父も高齢になり、足腰も弱って、脚立に乗って長時間の作業は厳しい。そこで考えたのが遠隔指導というやり方です。もともと私は電子機器のハードウェア開発に携わっていましたし、農家の跡継ぎでもある。技術者としての知識と経験、農家の視点、その両方を持っているからこそ、このスタイルを実現できたのだと思います。農家の後継者育成と、最新テクノロジーを活用した農業分野の開拓。2つを融合させることで、次世代のモデルケースになればと思っています。

まだまだ開拓の余地がある  
IoT時代の農業にチャレンジを

まず最初に、地元・高島市で新しい技術や、アイデアを取り込んだ展開をし、その後、全国に広げて行きたいと考えています。

弊社がヘッドオフィスとしてKRP地区を選んだのは、異分野・多業種のさまざまな情報が集まる場所だから。オフィスを置くKRP BIZ NEXTは、サポート体制や施設、サービスが充実している助かります。ここを拠点に、独自の技術とアイデアでIoT時代の農業を開拓していきたいですね。

KRP4号館3階 KRP BIZ NEXT

代表取締役  
水尾 学  
TEL: 075-315-9097  
URL: <http://www.persitech.com/>  
MAIL: [pt320m@persitech.com](mailto:pt320m@persitech.com)  
業種: 農業系 IoTビジネスコンサルティング・後継者育成ビジネス

1. 農業系IoT最新ツールを利用した省力化農業モデルの提案とコンサルティング。
2. 遠隔農業による後継者育成ビジネス
3. 各地の名匠技術を伝える技術伝承ビジネス他
4. 果樹の販売

株式会社パーシテック



企業情報

開催決定!



# KRP-WEEK 2017

7/31日 ▶ 8/6日

KRP-WEEKは「イノベーションの創出と交流の場づくり」をテーマに開催する京都リサーチパーク地区のイベント週間です。2016年度は、シンポジウム、体験イベント、七夕まつり、交流会など全59イベントが開催されました。2017年度イベント企画をご検討の方は事務局までお問い合わせください。



KRP PRESS Vol.147で KRP-WEEK 2016を特集しております。



ぜひご覧ください!

お問合せ

KRP(株) KRP-WEEK 事務局  
TEL:075-315-8485 MAIL:kpr-week@krp.co.jp

\*実施日は諸事情により変更になる場合がございます。

WEBでもKRP PRESSのバックナンバーをご覧いただけます  
▶ [http://www.krp.co.jp/pub/bn\\_prs/index.html](http://www.krp.co.jp/pub/bn_prs/index.html)

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、  
健康な新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年KRP地区では、京都で新たな事業展開をサポートするサービス機能付きオフィス「KRP BIZ NEXT」の開設、伝統産業の事業者を支援する「新文化産業(伝統産業)発展強化支援事業」、ヘルスケア分野での産業振興を目指した「HVCKYOTOPre Conference(ヘルスケアベンチャーカンファレンス)」の開催、起業を促進するファンドへの出資等、幅広い分野で新しい取り組みに挑戦してまいりました。これらの京都から新ビジネス・新産業創出を目指した取り組みは、ご入居者さまならびに公的機関の皆さま、京都地域の産学公各界、金融機関・ベンチャーキャピタルの皆さまのご支援・ご協力の賜物であり、改めて感謝とお礼を申し上げます。本年は、当地区の「イノベーション・ハブKRP」としての機能を更に充実させるため、新たな開発計画の検討を進めてまいります。故堀場雅夫氏の「KRP地区を京都における『知能のコンピナート』にする」という思いを胸に、新たなイノベーションが次々と生み出される魅力ある拠点を目指してまいります。本年も皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年の干支「酉」の本来の意味は「果実が十分に熟した状態」をさすそうです。この新しい年が、皆さまにとつて完熟した果実を得られる年でありませう、またより佳き年になりますことを心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



京都リサーチパーク株式会社  
代表取締役社長 松尾 一哉

### INFORMATION 環境配慮へのご協力をお願い

KRP(株)では、環境問題への取り組みとして「KES ステップ2」の認証を受け、環境への影響を低減させる活動を継続しています。地域及び地球環境との調和の実現に向けて、省エネ、節水、廃棄物の分別・削減等、環境に対する負荷の低減に、皆さまのご配慮とご協力をお願いします。



●KESについて詳しくはコチラ

KES環境マネジメントシステム標準公式サイト  
<http://www.keskyoto.org/kesinfo/>

配送・停止・変更のご希望は、  
右記内容を明記の上  
[krppress@krp.co.jp](mailto:krppress@krp.co.jp)へ

- |    |                    |           |      |                     |          |          |         |            |
|----|--------------------|-----------|------|---------------------|----------|----------|---------|------------|
| 配送 | ①〒、住所              | ②団体名      | ③部署名 | ④お名前                | ⑤TEL/FAX | ⑥メールアドレス | ⑦「配送希望」 | ※定期配送も可能です |
| 停止 | ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) | ⑨「配送停止希望」 | 変更   | ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No. |          |          |         |            |

vol.148  
January  
2017

KRP PRESS [www.krp.co.jp/pub/index.html](http://www.krp.co.jp/pub/index.html)

○編集・発行／京都リサーチパーク株式会社  
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地(ASTEM棟4階) TEL:(075)315-9333 FAX:(075)322-5348  
○編集長／鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷／株式会社情通レゾナンス ○配送管理／有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中 毎月第2・4火曜配信  
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>

